

## 第 4 章

## 施策の展開

## 基本目標 1 安心できる暮らしの継続と生きがいづくり

## (1) 多様な生きがいづくりへの支援



高齢者の多様なニーズに応じた活動の場を提供するとともに、より多くの高齢者が積極的に参加できるように、機会の拡充に努めます。

また、団塊の世代が高齢期を迎え、地域における生活支援サービスの担い手となることも視野に入れた、ボランティアの養成の充実に努めます。

## ○生涯学習事業の推進 <文化スポーツ課>

### 【事業内容】

高齢者が積極的に学び、個性と能力を伸ばすとともに、学習の機会の提供と自主的なクラブ活動を支援するために、楽田地区で老人福祉センターなどを活用して高齢者教室を開催しています。

### 【現状と評価】

囲碁、手芸、カラオケなどのクラブ活動のほか、各種発表会、展示会を行い、高齢者相互の懇親と教養を深める活動をしていますが、受講者の高齢化に伴い、教室数が減少しています。

高齢者教室の受講実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
延開催数(回)	352	349	300
延参加者数(人)	7,283	7,227	6,700

### 【方向性】

高齢社会・情報社会の到来により生涯学習に対するニーズが多様化・高度化していることを受け、「いつでも・どこでも・だれでも」自らが学ぶことができる生涯学習環境を整え、地域のNPO法人や大学とも連携し、魅力ある事業を展開します。

また、高齢者教室の維持、活性化のため、新規会員の加入促進につなげます。さらに、ボランティア講師登録制度として、市民の特技、知識、経験を講師として活かしてもらうことにより、生きがいつくりの場の提供と併せて、地域の人材育成と活用を積極的に進めていきます。

加えて、犬山市老人クラブ連合会などと連携し、安心して活動を継続できるよう支援します。

## ○さくら工房の活用 <健康推進課>

### 【事業内容】

高齢者の生きがいづくりと健康増進を図るため、介護予防整備事業補助を受け、平成15年5月に開設しました。

市民健康館との一体的な運営のもと、ものづくりを中心とした創作活動を展開しています。犬山焼窯元を講師に招いての陶芸教室、ステンドグラスや刺しゅう、絵手紙などの教室を、前期と後期に分けて実施しています。

### 【現状と評価】

ものづくりを通じて認知症や閉じこもりなどの介護予防効果が期待できる内容の教室を中心に実施していますが、参加者の年齢層は65歳以上が7割ほどで、80代後半の参加者も複数の教室でありました。

初めて参加される人は3割、継続して参加されている人は7割で、教室参加者アンケートでの声として、「参加して何が良かったか」の設問に対し、「趣味ができた」「外出の機会が増えた」「友達ができた」といった回答が上位を占めました。

#### さくら工房の受講実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
延受講者数(人)	1,002	1,844	2,390
うち高齢者実数(人)	186	153	174
開催教室数(教室) (前期・後期)	前期 17 教室 後期 18 教室	前期 15 教室 後期 15 教室	前期 17 教室 後期 15 教室

### 【方向性】

講師代表、市民代表、行政等で構成する「犬山市生きがいと健康づくり推進会議」の意見を踏まえ、さくら工房において、生涯学習や介護予防に関する事業を継続していきます。

講師の高齢化により休止や廃止となる教室や、定員を満たさず休止する教室もあることから、教室内容の検討や講師発掘に努め、高齢者の多様な価値観に対応できるよう魅力ある教室運営を図っていきます。

また、初回参加の割合が3割と少ないため、市広報での募集以外に、教室参加者による作品展を広く周知し、初回参加者の獲得にも努めていきます。

## ○生涯スポーツの推進 <文化スポーツ課>

### 【事業内容】

スポーツを通じて、高齢者の方でも健康の保持・増進や体力づくり、仲間づくりができるよう、各種スポーツイベントを開催し、参加促進を図っています。

既に、地域の高齢者の中では、グラウンド・ゴルフ、卓球、クロリティといったスポーツが活発であり、スポーツを通じて健康づくりや仲間づくりに繋がっています。

### 【現状と評価】

高齢者が、各種スポーツイベントにできるだけ多く参加できる環境を整え、健康の保持・増進や体力づくり、仲間づくりを通じた生きがいづくりを推進しています。

市民大会（グラウンド・ゴルフ）参加実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
大会開催数（回）	2	2	2
大会参加者数（人）	343	329	340

### 【方向性】

年齢を問わず誰もが気軽に参加でき、それぞれの体力や年齢、興味や目的に応じてスポーツに親しむことのできる機会を提供します。今後も、木曾川犬山緑地や体育館（エナジーサポートアリーナ）などを活用し、特定非営利活動法人犬山市体育協会やスポーツ推進委員をはじめ関係機関との連携を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けた事業を展開していきます。

## (2) 就業機会の充実

高齢者がこれまで培ってきた知識や技能を活かし、労働力の担い手として活動できるよう、シルバー人材センターと連携し、就業機会を充実させることで、高齢者が生きがい・やりがいを持ち地域に貢献できるよう努めます。

### ○シルバー人材センターの活用 <高齢者支援課>

#### 【事業内容】

地方公共団体や一般家庭、企業から臨時的・短期的な軽易な業務を請負・委任契約で受注し会員に提供するほか、派遣・職業紹介も行っており、高齢者が培ってきた経験・能力を活かし働くことを通じて社会参画し、生きがいを得る機会を確保する役割を果たしています。

#### 【現状と評価】

人生100年時代を見据えた生涯現役社会の取り組みにより、高齢になっても継続して企業に就労する割合が高くなり、会員の確保が困難となっているため、入会説明会の見直しや女性委員会による女性会員増加の取り組みを進めています。また、城下町プラザ事業、トマト栽培事業といった自主事業にも取り組んでいます。

#### 犬山市シルバー人材センターの状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
会員人数(人)	717	681	670
作業等受託件数(件)	4,223	3,899	3,600

#### 【方向性】

「就業」を高齢者の生きがいづくりの一つとする高齢者のため、シルバー人材センターの活性化を支援するとともに、自立した事業運営ができるよう支援していきます。

また、見守りや家事援助、社会参加支援といった生活支援の担い手としての活動も支援していきます。

## ○高齢者活動センターの活用 <高齢者支援課>

### 【事業内容】

高齢者に就業の機会を提供するために設置された施設で、健康増進と高齢者相互の社会交流を図ることも目的として、軽作業を行っています。

### 【現状と評価】

高齢者の就業機会を確保していく中で、その選択肢の一つとして軽作業をはじめとする業務の受注に努めています。

#### 高齢者活動センター活用の実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
配分金総額(千円)	5,224	5,219	5,850
延就業者数(人)	321	348	390

### 【方向性】

今後も就労活動を支援するとともに、地域と高齢者相互の交流を図るためにシルバー人材センターを通じて管理運営をしていきます。

### (3) 地域活動の奨励・支援

高齢者のニーズを捉えながら、シニア世代を対象とした講座やイベントの開催、老人クラブの活性化など、高齢者の知識や経験を活かした活動を支援します。

#### ○老人クラブ活動の促進 <高齢者支援課>

##### 【事業内容】

「健康」「友愛」「奉仕」の三本柱を基本理念として、趣味の活動や教養講座の受講のほか、社会奉仕活動や地域行事への参加といった、様々な活動を行っています。

##### 【現状と評価】

役員のなり手不足や活動目標の共有が難しいこと、高齢者の趣味が多様化していることなどの理由により、会員数は減少傾向ですが、地域での社会奉仕活動やスポーツ活動を行い、地域住民同士が支え合う基盤の一つとして、活動しています。

老人クラブの現状

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
	実績値	実績値	見込値
会員数(人)	1,531 (男性 812 女性 719)	1,329 (男性 717 女性 612)	1,325 (男性 715 女性 610)
加入率(60歳以上人口)(%)	6.14	5.33	5.30
クラブ数(団体)	39	35	35

##### 【方向性】

高齢者が老人クラブ活動を通じて生きがいのある豊かな高齢期を過ごせるよう、老人クラブへの助成を行います。また、老人クラブの活動が地域の活性化に繋がるよう支援していきます。

## ○老人福祉センター・老人憩の家の活用 <高齢者支援課>

### 【事業内容】

趣味やレクリエーションなどを通じて健康増進や教養の向上を図ることを目的として設置された施設で、地域での交流の場として活用されています。

### 【現状と評価】

地域により稼働率に差があり、また、利用者についても固定化している傾向にあります。施設の老朽化も進んでおり、公共施設マネジメントの観点や事故リスクを考慮し、中長期的な営繕計画の策定の準備を進めています。

老人福祉センター・老人憩の家の利用実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
総延利用人数(人)	19,071	23,275	24,900
老人福祉センター延利用 人数(人)	8,400	10,560	11,300
老人憩の家延利用人数(人)	10,671	12,715	13,610

### 【方向性】

中長期的な営繕計画策定を進める中で、今後必要な営繕などの概算コストを算出し、施設のあり方を検討していきます。



## (4) 生活支援福祉施策

ひとり暮らし高齢者などが住み慣れた地域での生活を継続するための支援を行います。

### ○ひとり暮らし高齢者あんしんコール事業 <高齢者支援課>

#### 【事業内容】

日常の安否確認が必要なひとり暮らし高齢者に対し、希望する曜日に電話やビデオ通話で安否確認を行うサービスです。

業務は、受託先のシルバー人材センターが利用者の希望する日に登録された電話に連絡します。利用者負担は無料です。

#### 【現状と評価】

令和3年度、令和4年度に安否確認を行った際に緊急対応となった案件はありません。また、利用者数は減少していますが、連絡を楽しみにしている利用者も多くおり、ひとり暮らし高齢者の孤独感の緩和と事業受託者側の生きがいづくりにもなっています。

#### ひとり暮らしあんしんコール事業の実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
登録者数(人)	16	13	13

#### 【方向性】

ひとり暮らし高齢者等への安否確認の手段の一つとして必要と考えており、事業は継続していきます。

## ○緊急通報システム事業 <高齢者支援課>

### 【事業内容】

65歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者などの自宅に緊急通報装置を設置することで、緊急時には消防署へ直接通報ができ、通報を受けた消防署で利用者の情報が確認できるサービスです。本人からの申請により緊急通報装置、ペンダント型端末機、見守りセンサー（人感センサー）をセットで設置します。手数料を含んだ利用者の実質負担額は、1か月550円です。

### 【現状と評価】

システムの設置台数は横ばいですが、システムを通じて救急搬送となった案件は、令和3年度は3件、令和4年度は3件あり、すべて大事に至らず済みしました。虚弱な高齢者の安全確保や不安解消の一助を担っています。

緊急通報システム設置事業の実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
設置台数（台）	59	59	59

### 【方向性】

虚弱な高齢者の安全確保と不安解消のためには必要な事業と考えていますので、引き続き、高齢者が利用しやすいサービス提供に努めます。

## ○高齢者タクシー料金助成事業 <高齢者支援課>

### 【事業内容】

85歳以上の高齢者が介護保険の要支援・要介護認定者が5割を占める現状から、外出する機会を増やし社会参加を促進することにより介護予防を図るため、85歳以上の高齢者に年間28枚（月2枚＋4枚）のタクシー基本料金助成券を交付しています。

福祉タクシーや介護タクシーを含めたタクシー会社30社と協定を締結し、高齢者の外出を支援しています。

### 【現状と評価】

高齢者の外出支援施策として、通院、買い物などに利用されています。高齢の交通弱者を支援することから、地域公共交通を補完している面もあります。

#### タクシー料金助成事業の実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
対象者数(人)	3,297	3,450	3,520
発行人数(人)	1,538	1,622	1,660
利用枚数(枚)	13,423	13,750	14,030
1人あたり平均利用枚数(枚)	8.7	8.4	8.5

### 【方向性】

介護予防の観点から高齢者の外出を支援するため、引き続き事業を継続していきます。また、この事業のあり方については、当市の地域公共交通全体の中で一体的に検討していきます。

## ○高齢者短期入所事業 <高齢者支援課>

### 【事業内容】

冠婚葬祭や病気など家族の都合により、高齢者を一時的に養護できない場合、原則7日間を限度として、1日あたり1,730円の利用者負担で養護老人ホームを利用して短期間養護する事業です。

### 【現状と評価】

高齢者虐待や災害などによる緊急避難の受け入れ先としての利用もあるため、今後も継続できるよう居室の確保をはじめ、受け入れ態勢を整備しています。

高齢者短期入所事業の実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
利用件数(件)	2	3	3
延利用期間(日)	33	66	49

### 【方向性】

在宅で身の回りのことが自分でできる高齢者を抱える家庭や緊急避難の受け入れ先として不可欠なサービスと考えます。引き続き、委託先の法人との連携に取り組んでいきます。

## ○住宅リフォーム助成事業 <高齢者支援課>

### 【事業内容】

所得の少ない世帯の方（市民税世帯非課税）が直近（6か月以内）の要介護認定で「非該当」と判定され、自宅で日常生活を営むことに支障がある場合、住宅改修の費用を10万円上限として工事費用の9割を助成します。

### 【現状と評価】

令和3年度、令和4年度ともに利用がありませんでした。

市民の制度の認知不足が一因と考えられるため、制度の周知に努めます。

### 住宅リフォーム助成の実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
利用件数（件）	0	0	1
助成額（円）	0	0	100,000

### 【方向性】

介護保険制度では支援できない市民に対する制度と考えており、市広報等を通じて制度の周知に努めます。

## (5) 在宅介護支援福祉施策

介護者が在宅で安心して介護ができるよう、身体的・精神的・経済的な負担の軽減に向けた様々な支援を推進します。

### ○在宅要介護者介護手当支給事業 <高齢者支援課>

#### 【事業内容】

在宅で寝たきり又は認知症の高齢者を介護している介護者に対し、介護にかかる負担を軽減するため、月額8,000円を年2回に分けて支給するものです。

#### 【現状と評価】

重度の要介護者を在宅で介護している介護者に対する支援事業として、引き続き、適正化を図りながら事業を進めています。

在宅要介護者介護手当支給事業の実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
年間延べ支給件数(件)	2,075	1,865	1,560
年間支給総額(円)	16,600,000	14,920,000	12,480,000

#### 【方向性】

在宅で重度の要介護高齢者を介護することは、介護者にとって非常に負担のかかることであるため、引き続き事業を継続していきます。

## ○訪問理髪サービス <高齢者支援課>

### 【事業内容】

65歳以上の寝たきり高齢者の保健衛生の向上と介護者の負担を軽減させるため、理髪店に行くことが困難な家庭に理・美容師が出向いて、調髪の実施を行う事業で、利用券を年間最大6枚(2か月で1枚)交付しています。

### 【現状と評価】

在宅の重度の要介護者が対象のため、利用者の入れ替わりにより理容、美容の利用回数に変動はありますが、毎年度一定の需要があります。

訪問理髪サービスの実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
登録者数(人)	24	25	25
延べ利用回数(回)	理容:42 美容:26	理容:33 美容:36	理容:35 美容:35

### 【方向性】

重度の要介護高齢者を在宅で介護している家庭にとって、高齢者の保健衛生の向上と介護者の負担軽減の両面を支援できる制度のため、引き続き事業を実施していきます。

## ○要介護者の家族やヤングケアラーを含む家族介護者支援の充実

### 【事業内容】

全世代型社会保障の構築を進める観点から、関係部局が連携し認知症高齢者の家族やヤングケアラーも含めた家族の介護軽減に繋がる取り組みを進めることが重要です。

重層的支援体制整備事業や属性や世代を問わない包括的な相談支援等について、障害分野や児童福祉分野等の他分野と連携を図ることが重要です。

### 【方向性】

現在、市の教育部門で連携し、対象者の把握のため調査を行っています。今後、支援すべき対象がある場合は、関係部局が連携し、速やかに支援できるよう、体制の構築に努めます。



## (6) 福祉施設施策

環境上の理由や経済的事情などで、在宅での生活が困難であると判断された高齢者に対して、養護老人ホームへの入所措置を行います。また、有料老人ホーム等の状況把握を行います。

### ○養護老人ホーム入所措置 <高齢者支援課>

#### 【事業内容】

精神科医師や保健所長などで構成される老人ホーム入所判定委員会において、環境上の理由や経済的事情などで、在宅での生活が困難であると判断された高齢者に対して、養護老人ホームへの入所措置を行います。

#### 【現状と評価】

入所者の高齢化が進み、ホームでの生活が困難となり、年々入所者数が減少しています。

しかし、環境上の理由や経済的理由で在宅の生活できない高齢者は一定数存在するため、必要な事業であると考えています。

#### 養護老人ホーム入所措置の実績

施設名	令和3年度			令和4年度			令和5年度 (見込み)		
	ぬく森	さわやか 日本ライン※	長楽荘※ さわやか	ぬく森	さわやか 日本ライン※	長楽荘※ さわやか	ぬく森	さわやか 日本ライン※	長楽荘※ さわやか
市民の入所者数(人)	11	1	1	9	1	1	9	1	1

※県外の施設 さわやか日本ライン(岐阜県加茂郡坂祝町)、さわやか長楽荘(岐阜県可児郡御嵩町)

#### 【方向性】

環境上の理由や経済的事情などで在宅での生活が困難であると判断された高齢者に必要なため、事業を継続していきます。

○有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の状況把握及び  
質の確保<高齢者支援課>

【現状と評価】

当市では、令和5年8月時点で、有料老人ホームが11か所、サービス付き高齢者向け住宅が1か所設置されています。有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅について、多様な介護ニーズの受け皿の一つとして、サービスの提供状況の把握を行っています。

【方向性】

県と連携し、状況把握に努めるとともに、介護サービス相談員を活用し、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の質の確保を図ります。

## ○健康増進のための事業の充実と環境整備 <健康推進課>

### 【事業内容】

市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組み、生活習慣病予防や健康増進に繋がる保健事業を行っています。

誰もが気軽に行うことができるウォーキングは、健康づくりボランティアへの委託事業として、年間を通して市内のウォーキングコースを中心に各地域で行われています。またウォーキング講座や企業と連携した歩行診断、ウォーキングアプリを活用したウォーキングの取り組みも併せて実施しています。

また、中高年男性や高齢者など、対象者別の料理教室を、健康づくりボランティアへの委託事業として実施し、食事のバランスなどに配慮した食事づくりの実践指導を行い、日常生活に取り入れられるようにしています。

### 【現状と評価】

歩行姿勢や歩数を意識することで、健康増進や介護予防に繋がるウォーキング事業を包括的に実施しており、参加者数やウォーキングアプリダウンロード数は増加しています。料理教室はコロナ感染症の影響で中止や縮小はしましたが、栄養バランスを機器で測定する食育 SAT は多くの高齢者の参加がありました。

事業名	実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
ウォーキング事業「ちょっと歩こういぬやま」	開催回数(回)	6	8	10
	延参加者数(人)	113	143	150
ウォーキングアプリ「てくてく」	ダウンロード数	4,171	4,704	5,000
中高年男性の料理入門	開催回数(回)	コロナ感染拡大で中止	5	5
	延参加者数(人)		36	50
選んで楽しく健康レストラン(食育 SAT)	開催回数(回)	5	8	8
	延参加者数(人)	101	176	200

## 【方向性】

健康増進や介護予防に繋がる保健事業の推進とともに、身近な生活圏で気軽に無理なく健康づくりや介護予防の取り組みができる環境を整える必要があります。

地域コミュニティや老人クラブなど関係団体とも連携をとり、様々な機会を捉え、資源を活用しながら事業を企画していきます。

## ○生活習慣病発症予防、重症化予防 <健康推進課>

生活習慣病は中年から高齢者の間で急増する傾向にあり、一度かかると完治させることは難しく、重い障害となり介護が必要となる場合もあります。

生活習慣病は生活習慣が深く関与し、その改善により予防できる可能性が高いことから、生活習慣病のリスクを抑える生活を送ることを推奨するとともに、毎年健康診断を受けることを推奨し、受診率の向上にも努めています。

### 【事業内容】

#### 1. 健診事業

##### ① 特定健康診査（各保険者による健康診査）

40歳～74歳を対象に生活習慣病予防を目的にした健康診査で、国保、社保、共済保険など各保険者が被保険者に対し、毎年行う健診です。

健診項目は、身体測定、血液検査、視力検査の外、国保対象者には、心電図、貧血検査、眼底検査を上乗せし、血管系疾患に対応した健診内容となっています。

##### ② 後期高齢者医療健康診査

75歳以上を対象に生活習慣病予防を目的にした健康診査で、健診項目は、特定健康診査と同じです。

#### 2. 重症化予防事業

健診結果によって生活習慣の改善が必要な人を対象に、保健師等による特定保健指導、病態別講座の開催、個別訪問等を行っています。

また、治療中断者や健診未受診者への家庭訪問を行い、医療機関につなげる取り組みをしています。

### 【現状と評価】

犬山市国保被保険者を対象にした特定健康診査の令和4年度受診率は39%でした。

検診受診率（国保）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 （見込み）
特定健康診査（%）	40.3	39.0	40.0

## 【方向性】

健診受診率の向上とともに、健診結果を問わず、食事や運動、睡眠、飲酒、喫煙などの改善意識を持つことや、日頃の生活習慣を見直し、無理なく継続できる生活習慣の改善などの予防対策を進めていきます。